

壬生野地域まちづくり協議会  
〒519-1424 伊賀市川東 4539 番地の 4  
壬生野地区市民センター内  
Tel: (45)8900 ・ Fax: (45)8901  
E-mail tokimeki@ict.ne.jp  
URL http://www.mibunet



新年明けましておめでとうといひます。  
皆様方には、ご家族お揃いでよいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

野田政権に変わり、はや、4カ月が経過いたしました。昨年12月末に「日本再生元年予算」として2012年度政府予算案90兆3339億円が、閣議決定されました。元氣な日本の一日も早い復活を願うてやみません。

昨年の、3・11には未曾有の東日本大震災が発生し、想定外の津波により多くの尊い命と生活・経済基盤をすべて奪い去るともに、原子力発電所をも破壊、放射能汚染が日本経済に大きな打撃を与え、今もなお遅々として進まぬ災害復旧に苦慮している現状にあります。一方、台風12号の豪雨により三重県南部地方にも多大な爪痕を残したことも記憶に新しい出来事として忘れることはできません。その代わりといつてはなんですが、私たち日本人が忘れかけていた「絆」の大切さを改めて再確認されたと思います。

伊賀市総合計画(平成18～平成27年まで)に基づく後期基本計画(平成23～平成27年まで)が策定されるなか伊賀地区(いがまち)として、「自然と調和した安心・安全・元氣なまちづくり」を基本理念のもと、壬生野地域まちづくり協議会も参画、多くの方々の意見などを賜り、今後5年間の指針が完成し事業実施される見込みです。

なお、昨年4月より自治組織のあり方の見直しが行われ、自治組織の役割の明確化と行政窓口の一本化が図られると共に、自治振興費が地域包括交付金制度に改正されました。地方の時代と言われて久し

## 年頭にあたりて

協議会会長

山岡耕道

## 餅つき & しめ縄づくり (川西地区)



12月4日、餅つき&しめ縄づくりを開催しました。午前中の餅つきは、川西地区子ども育成会、川西地区更生婦人会(金谷善智子会長)の共催で行われ、子どもたちも搗き立ての切り餅に小豆あん、きな粉やふりかけを付けることを教えてもらったり、みんなで話し合いながら楽しく行っていました。また、餅つき体験もさせてもらい、杵で搗く餅つきの難しさや面白さを学びました。そして、作ったお餅とおいしい豚汁で、楽しく会食をおこないました。

午後は、川西老人クラブ(今中哲彦会長)の指導のもと、お正月用しめ縄づくりをしました。福永権也さんからは、太い目のしめ縄飾りを教えてもらい、終始熱心に子どもも大人も頑張りました。東北の大震災、大津波被害さらに原発の被害や台風12号などでの人命にかかわる被害があまりにも多い年でありましたので、安心、安全のしめ縄づくりの祈願に力が入りました。

(世代間交流)川西公民館



【メモ】 注連縄(しめなわ)とは、神聖な神域と外界を隔て、ケガレなどの進入を防ぐためのしきりにつかわれるものです。神社のまわりや、ご神体などに張られます。お正月には、各家の玄関などに注連飾りを飾ります。神道に基づく風習です。飾り始める日は、松飾りの飾る期間と同じ扱いで良いが、地域によって風習は異なり、29日と31日に飾る事は縁起が悪い事とされ、31日に飾ることを一夜飾りといい、迎え入れる神様に失礼であるとされる。飾りを取り外す日も地域によって風習が異なり、1月7日に七草がゆを食べた後、若しくは15日の小正月の後に取り外すとされています。



## 編集後記

さあ新しい年が始まりました。昨年は未曾有の災害が日本を襲い、大変な試練を負うことになりましたが、今年は希望に満ちあふれ、心豊かな明るい一年になることを祈りたいものです。



お正月もあつという間に過ぎ、一年の活動開始です。お正月気分から抜け出せましたか。まだまだ寝ては食べ寝ては食べる繰り返しの状態でしょうか。干支は「辰」です。辰は「振るう、整う」の意味で、陽気が動き草木が伸長し、整っていく状態を示しているそうです。辰にちなんで、天にも昇る勢いで何事にも果敢に挑戦するぞ!!

◇◇◇◇ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せ下さい。 ◇◇◇◇

壬生野地域まちづくり協議会広報誌発行委員会 TEL: 45-8900



## 紅葉ウォーキング

健康・福祉実行委員会では、12月3日(土)健康の駅長さんとの共催のもと本年度第2回目のウォーキングを開催しました。朝雨が降っていましたが、予定の時刻には、雨が上がり32名の参加を得て、にぎやかに出発しました。信州から直接購入してもらったキノコ汁は、みごとに炊き上げられ、2杯、3杯・・・いただきました。さらに健康が増進した気持ちになりました。



参加者総揃いで 白藤滝 はいチーズ！



どんなお味にしてみましたか。思案中？



い中、名実ともに地方分権が実現し、特色ある地域づくりが出来ることを大いに期待するところであります。

さて本年も、広聴・広報委員会をはじめといたしまして9つの実行委員会がそれぞれの独自性をだし、活発に活動する所存です。特に委員会合同の壬生野まつりにつきましては、皆様方の協力のおかげで年々活発に盛況になってまいりましたが、さらに一人でも多くの方の出席をお願いするとともに、ギャラリーとして楽しく参加いただき、祭りを盛り上げていただきたいと思っています。

さらに、東海・東南海・南海地震等予期せぬ災害、事故等に対応する防災意識の高揚を図る取り組みを進め、地域の皆様方の【絆】をさらに深め、要援護者の方々への支援体制を改めて考えたいと思います。

市民センターは、地域みなさんの施設です。一人でも多くの皆さんが足を運んでいただき気楽に会合し、今後の壬生野について楽しく語っていただければ幸いです。

壬生野まちづくりの基本方針であります“ふるさとの継承と新たな住民自治の創造”のもと、素晴らしい地域づくりのため、また安心して生活できる環境づくりのため一人でも多くの皆様方の参画をいただき、ご支援ご活動をお願いいたします。



## 防災視察研修

12月10日(土)、防犯・防災実行委員会の事業の一環で役員、実行委員ら17名が名古屋市港防災センターへ研修視察を実施しました。

名古屋市港防災センターは、台風や地震、火事といった災害とその対策をテーマにした施設で、体験を通じて地震や風水害というものの知識を身に付けるという体験コーナーがありました。

地震体験コーナーは、阪神淡路大震災と同じ震度7の揺れを体験し、かなりの揺れで地震の恐ろしさを痛感しました。案内人さんから説明で地震が起こった時の対応などを教えてもらいました。

また、伊勢湾台風の体験コーナーでは、スリー・ディーによる伊勢湾台風の再現で、障子がガタガタしたり、窓が破れて風が吹き込んだりなどの体験をしました。

さらに、煙避難体験コーナーは、煙が充満している真っ暗な部屋を手探りで進み脱出するもので、事前に説明がありましたが実際に体験してみると思うように進めず、難しいことを実感しました。

そのあと、研修ルームでビデオによる研修を行いました。昨年3月11日の東日本大震災が発生時からの津波と住民の避難の映像と、それに加えて大津波による災害の様子が再現され、心痛く印象に残りました。



## 庭木の整枝・剪定に熱が入りました。

12月18日(日)、午後から壬生野小学校校庭の庭木をお借りして整枝、剪定の講習会を実施しました。

当日は寒い風の吹く中、いがまち造園組合の方の剪定要領の説明を熱心に聞いてから、17名の参加者が実際に、それぞれ剪定作業を行いました。スイスイとの進む人、少しごちなく進める人、人それぞれでしたが、最後には自分なりに納得いく仕上がりに満足されていた様子でした。

講師のポイントをついた指導で短時間のうちに要領を掴むことができ、有り難うございました。お疲れさま。

